

見守り支援システム導入について

見守り支援システム「眠り SCAN」「見守りカメラ」

介護老人保健施設はまかぜではパラマウントベッド株式会社製の介護ロボット『眠り SCAN』及びアイホン株式会社製『見守りカメラ』を施設内の全床（50 床）に導入します。（2024 年 3 月導入）

「眠り SCAN」はシート状のセンサーをマットレスの下に敷きこむだけで、身体に何も装着することなく、ベッドを利用されている方の呼吸数や心拍数、睡眠状態、覚醒、起き上がり、離床動作などを遠隔においてリアルタイムに把握することができるセンサーです。

「見守りカメラ」は、入所者様の映像を遠隔のパソコン端末や携帯端末で確認できるほか、「見守りカメラ」で設定した状態の変化を検知した際の通知にあわせて映像を表示することができるシステムです。
これにより、緊急対応の必要性の可否などについて、よりの確な判断が可能になります。

そのほか、夜間の消灯後でも確認できるよう室内が暗くなると自動で赤外線撮影に切り替わる機能や、目的に応じて保存する映像の画質・解像度を変更できる機能を備えるなど、使い勝手の良さやプライバシーにも配慮されています。



〔眠り SCAN〕



〔見守りカメラ〕

システムの機能・構成について

マットレスの下にセンサーを敷きこみますので、ベッド上に寝ていても違和感が少ない



[マットレスの下にセンサーを敷設]



[各居室にカメラを設置]

「眠り SCAN」「見守りカメラ」から得られる情報

敷設したセンサーから Wi-Fi を通じて、ベッドを利用されている方の呼吸数や心拍数、睡眠状態、覚醒、起き上がり、離床動作などがリアルタイムに情報として送られます。

当施設では、パソコンの設置場所に出向かなくとも状態を確認できるようタブレットにアプリケーションをインストールし、持ち運びながら活用しています。



情報伝達の流れ



[ビューワーのリアルタイム画面]

測定したデータは睡眠日誌や呼吸日誌、心拍日誌として長期的変動を記録、閲覧することができますので、生活リズムの確認や体調変化の早期発見に役立ちます。



[呼吸日誌]



[各端末での確認画面]

「見守りカメラ」は、入居者様の映像を遠隔のパソコン端末や携帯端末で確認できるほか、「見守りカメラ」で設定した状態の変化を検知した際の通知にあわせて映像を表示することができますので実際に訪室した方が良いかどうかの判断にも活用できます。

導入した経緯

1.入所者様の安全を確保する

ベッド上で寝ている方の状態をリアルタイムで確認することが出来るため、体調の急な変化に気づくことや居室内での転倒・転落をより早期に発見、対応することが可能になる。

2.入居者様の生活リズムを把握

入眠・起床のタイミングや1日を通じた体調の変化などを把握することにより、どのタイミングでどのサービスを提供するか等、個人の生活リズムに合わせたケアが可能となる。

3.厚生労働省のDX推進について

厚生労働省は、介護ロボットの開発と普及を強化し、高齢者の自立支援と質の高い介護を実現するために取り組んでいます

介護ロボットとは: 介護ロボットは、知能化した機械システムで、情報を感知(センサー系)、判断(知能・制御系)、動作(駆動系)する能力を持つものを指します。これらの技術は、利用者の自立支援に役立つ介護機器として応用されています。

4.機器の詳細について

- ・ 眠リスキャン <https://www.paramount.co.jp/series/2/2000061>
- ・ 見守りカメラ
https://www.aiphone.co.jp/products/medical_welfare/medical/vi-nurse/feature/watchover.html